

ホシガレイの精子活性比較試験

福島県水産種苗研究所

1 部門名

水産業-種苗研究(基礎)-種苗生産

2 担当者

佐々木恵一

3 要旨

ホシガレイの精子の活性を調べると、活性が低いものが多く見られた。ホシガレイの受精率やふ化率は、他の栽培漁業対象種と比較して低い傾向にあることから、精子の活性が受精率、ふ化率に与える影響の有無を検討した。

- (1) 当所で育成した5才人工雄親魚15尾から採取した精子の活性を調べたところ、延べ205サンプルのうち、113サンプルの活性が低いか全くなかった。
- (2) 採取時期が後期になるほど、精子活性が低いサンプルの割合は高くなる傾向がみられた。
- (3) 高活性精子と低活性精子を用いて、同じ親魚から採取した卵に媒精した。8回行った試験の平均受精率、平均ふ化率は、高活性精子がそれぞれ57.5%~5.5%、低活性精子がそれぞれ59.3%~5.3%で、両者間に大きな違いはみられなかった。
- (4) また、試験を行った回時ごとの受精率、ふ化率を比較したが、極端な差は見られなかった。
- (5) 以上の結果から、受精率やふ化率と精子活性の間には明確な関係はみられず、現在のホシガレイ種苗生産において受精率やふ化率が低い原因は、精子活性以外の可能性が高いと考えられた。

4 主な参考文献・資料

- (1) 特になし